

第11次基本計画の検証

1 成果指標の達成状況

全体	達成	未達成
47施策全体 成果指標145件	61件 (42.1%)	84件 (57.9%)

全体	達成	未達成	
			■達成 ■未達成
分野1 こども若者教育	10件 (35.7%)	18件 (64.3%)	35.7 64.3
分野2 健康医療福祉	12件 (63.2%)	7件 (36.8%)	63.2 36.8
分野3 住民自治共生	4件 (20.0%)	16件 (80.0%)	20.0 80.0
分野4 環境エネルギー	6件 (54.5%)	5件 (45.5%)	54.5 45.5
分野5 都市基盤危機管理	9件 (34.6%)	17件 (65.4%)	34.6 65.4
分野6 経済産業	13件 (54.2%)	11件 (45.8%)	54.2 45.8
分野7 文化観光	7件 (41.2%)	10件 (58.8%)	41.2 58.8

松本市第12次基本計画策定に係る基礎調査

調査		内容
各種統計データの調査分析 (p3)		<p>松本市の強みや重点的に取り組むべき課題を明らかにするとともに、政策立案の基礎とするもの</p> <p><主な調査分析項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来人口推計 ・各種統計資料の分析(県内19市及び類似団体との比較) 人口、子育て・教育、健康・医療・福祉、社会基盤・地域づくり、環境、人権・ダイバーシティ、産業・雇用、文化・芸術・スポーツ、行財政
市民意見の聴取	市民意識調査 (p4)	<p>(1) 実施期間 令和6年11月1日～令和6年12月11日</p> <p>(2) 対象 無作為抽出した満18歳以上の市民2,400人 無作為抽出した高校生世代の市民300人</p> <p>(3) 調査項目 今後重視すべき取り組み等</p>
	市民ワークショップ (p5)	<p>(1) 「松本のミライを考えるワークショップ」(令和6年10月14日(祝))</p> <p>(2) 「松本のシンカを考えるワークショップ」(令和6年11月16日(土))</p> <p>(3) 「子ども版#松本ロダン界限」(令和7年2月16日(日))</p>
	意見募集 (p6)	<p>(1) 内容 まちづくりの方向性や要望、松本の魅力や強み(自由記述)</p> <p>① インターネットによる意見募集 実施期間 令和6年12月27日～令和7年2月7日 方 法 市公式LINE、専用フォーム、その他SNS</p> <p>② 公共施設等での記入用紙による意見募集 実施期間 令和7年1月14日～令和7年2月14日 実施場所 35地区地域づくりセンター及び市内17か所(市役所、Mウイング、中央図書館、美術館、イオンモール等)</p>

各種統計データの調査・分析

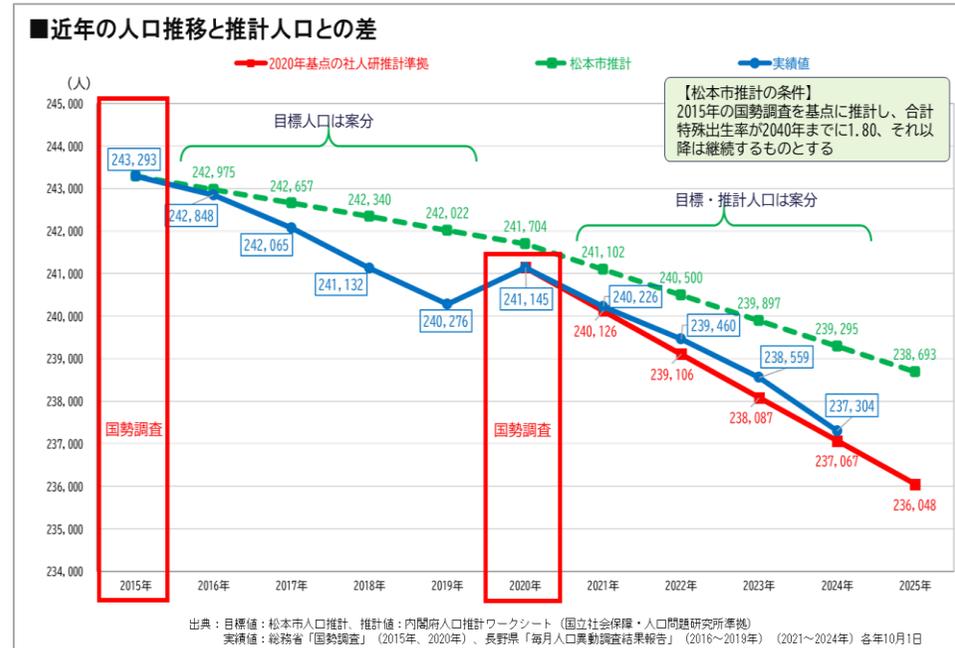
1. 調査の目的

松本市第12次基本計画策定に向け、松本市の人口動向や各政策分野の状況をまとめ、松本市の強み・弱みの分析を行うことを目的に分析

2. 調査実施概要

分野	調査項目例
人口	人口構造、高齢化率・生産年齢人口率、自然動態、合計特殊出生率、未婚率の推移、社会動態、転出入者数 等
子育て・教育	子育てのしやすさ、女性の就業率、園児数、待機児童数、児童生徒数・不登校児童生徒数の推移、特別支援学級数の推移、ICT機器活用状況、自己肯定感の推移 等
健康・医療・福祉	平均寿命・健康寿命の推移、国民健康保険における医療費、要支援・要介護認定者数、在宅サービス利用率 等
社会基盤・地域づくり	町会加入率、空家数、人口集中地区人口比率、空港利用状況、JR松本駅の利用者数、各種路線の利用者数 等
環境	温室効果ガス排出量、リサイクル率、ごみの排出量、再生可能エネルギー導入容量、住宅用温暖化対策設備 等
人権・ダイバーシティ	人権相談件数、外国人住民数、多分化共生プラザ利用状況、外国人雇用状況、管理職に占める女性比率 等
産業・雇用	産業分類別事業所数・従業員数、農家数、農業産出額、林業経営体数、製造品出荷額、観光消費額 等
文化・芸術・スポーツ	公民館利用者数、各種文化施設利用状況、図書館蔵書数、体育施設利用状況、松本山雅経済波及効果 等
行財政	財政力指数、経常収支比率、実質公債費比率、将来負担比率、人口1人あたり地方債残高・積立金残高、職員数等

(データ例)



市民意識調査

1. 調査の目的

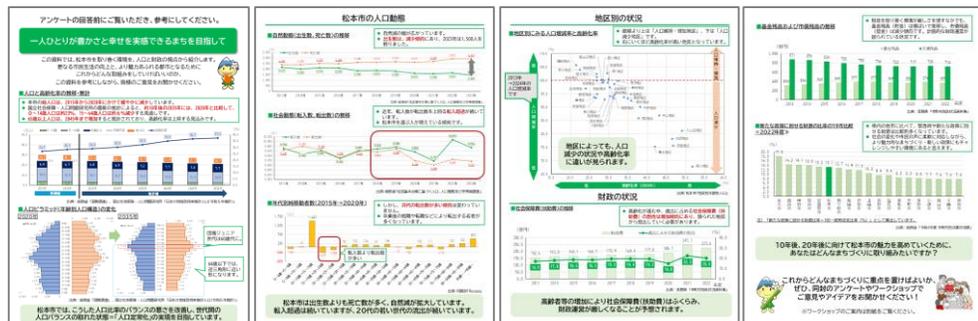
第12次基本計画の策定に向けて、更なる市民生活の向上とより魅力あふれる都市を目指し、第11次基本計画で掲げた重点戦略や47件の進捗状況の把握、暮らしの満足度や定住意向などから本市の強み、課題を収集することを目的に実施した。

2. 調査実施概要

調査は、「18歳以上市民」と「高校生世代（15～18歳）」を対象とした。

郵送で調査票等を配布し、回答は「紙の調査票」又は「インターネット」を選択可能とした。なお、アンケート実施にあたり、市の人口動向や財政状況についてまとめた「情報提供資料」を同封し、松本市の現状や将来予測を踏まえたうえでの回答を依頼した。

配布した情報提供資料



	18歳以上市民アンケート	高校生世代アンケート
調査対象者	満18歳以上の市民	平成18年4月2日～平成21年4月1日生まれの市民
配布数	2,400件	300件
抽出方法	住民基本台帳の各対象年齢層から無作為抽出	
調査方法	郵送調査	
回答方法	郵送による紙の調査票の返送とインターネット回答を選択可能とした。「紙の調査票」と「インターネット」での重複回答を防ぐため、調査票にインターネット回答用番号の記載を行った。	
調査期間	令和6年11月1日～12月11日	
回答数	1,073件 郵送：685件 インターネット回答：388件	93件 郵送：39件 インターネット回答：54件
回答率	44.7%	31.0%
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 属性 幸福度、暮らしの満足度、定住意向 暮らしている地域の状況やご自身の状況 転入の経緯 重点戦略・47施策の評価 日常生活や地域活動への参加状況 松本市や地域の情報の入手方法 	<ul style="list-style-type: none"> 属性 幸福度、暮らしの満足度、定住意向 暮らしている地域の状況やご自身の状況 地元就職意向 松本市や地域の情報の入手方法

意見収集(市民ワークショップ)

1. 実施概要

テーマ	日時・会場	参加者
松本のミライを考えるワークショップ	令和6年10月14日(祝) @松本市博物館講堂	高校生及び大学生 32名
松本のシンカを考えるワークショップ	令和6年11月16日(土) @松本市博物館講堂	松本市に居住又は通学・通勤者 29名
子ども版#松本ロダン界限	令和7年2月16日(日) @あがたの森文化会館	まつもと子ども未来委員会(小・中・高校生) 22名

2. 主な意見(抜粋)

分野1 こども若者教育	勉強ができる居場所、若者の活動に対する支援の充実 不登校の子どもの進学や就職への支援(情報やその後のケア) 学校からPCを気軽に持ち帰ることができるようにして、アプリでテスト勉強ができるようにしてほしい
分野2 健康医療福祉	市民(特に若者)のヘルスリテラシー向上に向けた取組み。市内アクセスしやすい場所に相談室設置を。 バリアフリーな居場所、障害や特性のある人も楽しく過ごせる工夫 健康・疾病予防のための運動施設の充実。
分野3 住民自治共生	病院受診や市役所、銀行等、窓口手続きのデジタル化を進め、待ち時間の短縮 世代を超えて子どもからシニアまで交流できる場があると良い。公民館が気軽に、使いやすくなると良い。
分野4 環境エネルギー	街中にも緑や木を増やす。 太陽光発電で景観を悪くしないでほしい
分野5 都市基盤危機管理	まちの象徴になる交通システム。利用しやすいデマンド交通の充実。公共交通、新幹線や飛行機をもっと利用しやすく。 街中の交通量の抑制。自転車専用レーンの設置の推進。 松本市に特化したマップアプリがほしい。近所にAEDがなく不安、公民館に設置するのはどうか。
分野6 経済産業	企業のアピール力強化。普段から企業と学生が繋がる場を。若者から見て「おもしろう」な職場・仕事 企業側の取組改革。シェアオフィス増。外に向けてさらなる魅力の発信。都会と比べての賃金差をなくす。
分野7 文化観光	城下町ということを活かした観光事業を充実、地域の伝統文化を絶やさないための工夫 定期的な大きなイベントとして、人気アーティストやアイドルのイベントを開催

意見収集(意見募集)

1. 概要

- (1) 企画名
#松本ロダン界限
- (2) 内容
まちづくりの方向性や要望、松本の魅力や強み(自由記述)
- (3) 期間
インターネット:令和6年12月27日～令和7年2月7日
記入用紙 : 令和7年1月14日～令和7年2月14日
- (4) 方法
インターネット:市公式LINE、専用フォーム、その他SNS
記入用紙 : 35地区地域づくりセンター及び市内17か所
(市役所、Mウイング、中央図書館、美術館、イオン等)



2. 結果

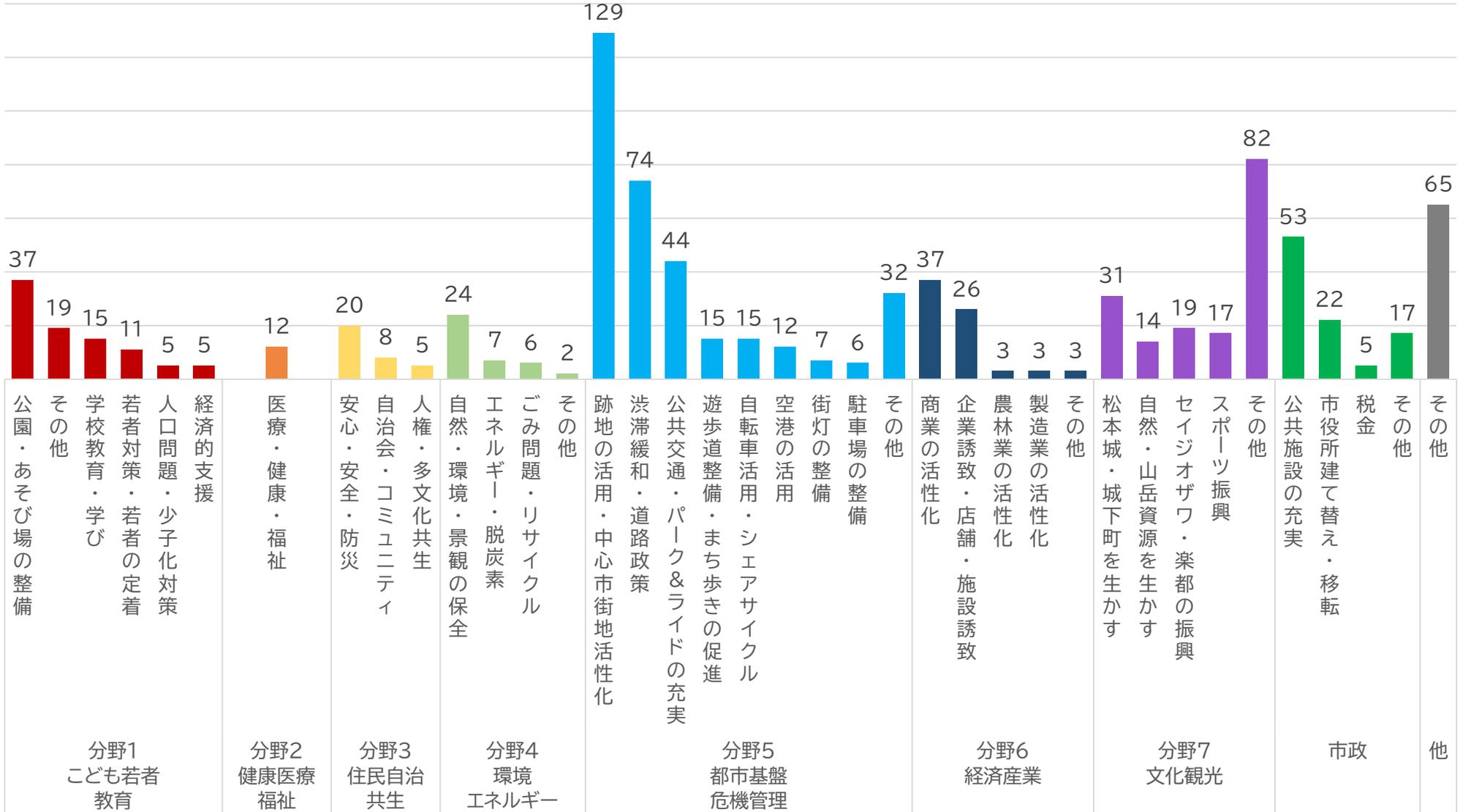
543件 (内訳) インターネット: 398件
記入用紙 : 145件

	回答様式		
	インターネット	紙	計
男性	178	45	223
女性	202	56	258
回答しない	18	10	28
不明	0	34	34
合計	398	145	543

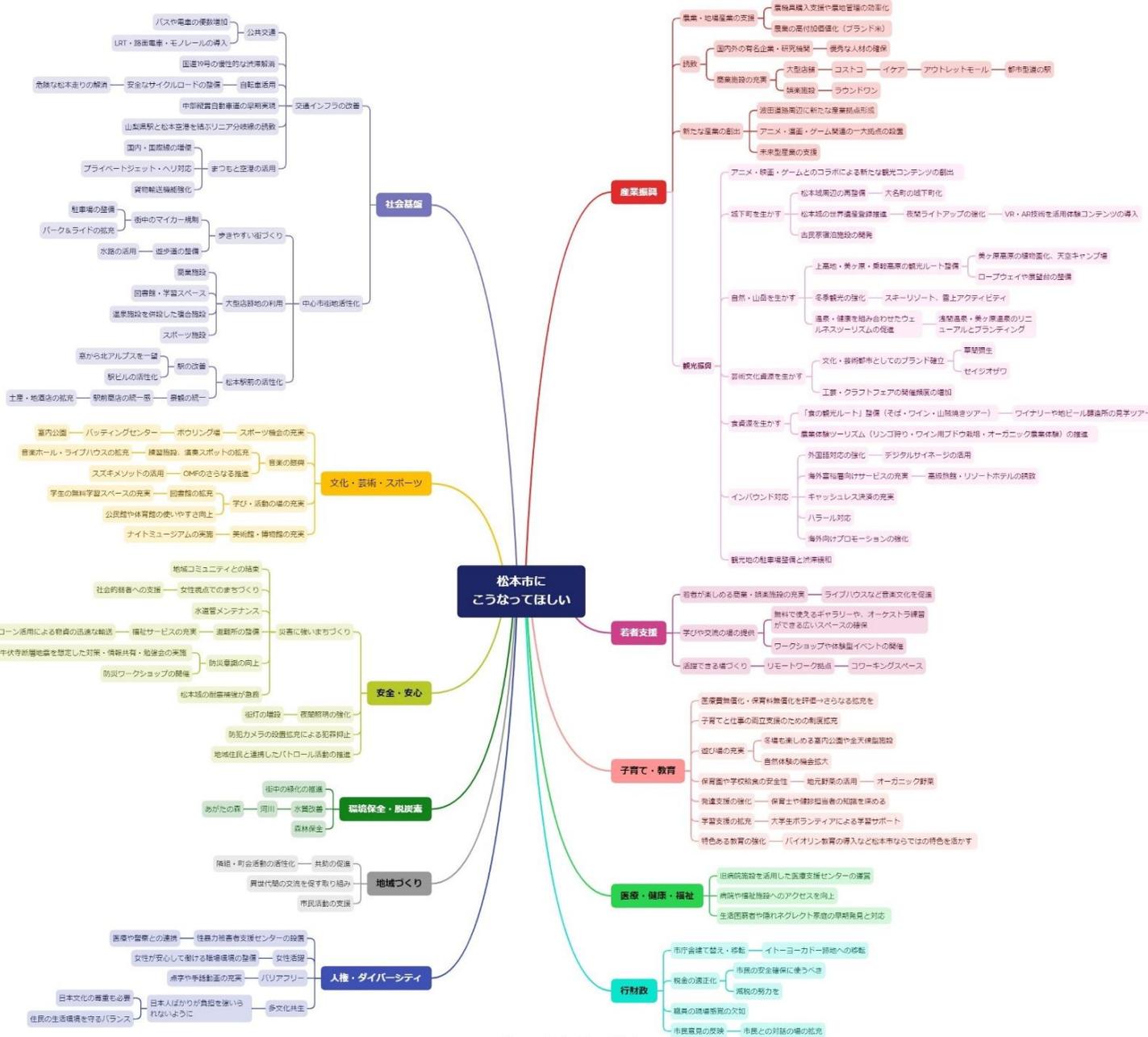
	回答様式		
	インターネット	紙	計
10歳未満	0	8	8
10代	13	65	78
20代	42	3	45
30代	71	11	82
40代	77	11	88
50代	107	19	126
60代	56	8	64
70代	24	4	28
80代以上	8	5	13
無回答	0	11	11
合計	398	145	543

3. 結果

意見の分野別件数(n=904件)



意見収集結果まとめ(市民ワークショップ及び意見募集)



【社会基盤】
 > 多くに意見が集まった中心市街地活性化と交通インフラの整備が大きな意見の 카테고리である。中心市街地活性化は、大型店舗跡地の活用、遊歩道やマイカー規制などにより歩きやすい街づくり、城下町らしい駅前の景観統一に関心が寄せられた
 > 交通は公共交通の充実のほか、渋滞解消、自転車活用、空港利用などの意見がみられた

【産業振興】
 > 産業分野では大きなカテゴリーとして観光に対する意見が多種多様寄せられた。三ガク観光をはじめとする松本の資源を生かした観光、インバウンド対応といった意見がみられた
 > 観光以外では企業・店舗の誘致に関心が高い。商業・娯楽施設や有名企業・研究施設の誘致のほか、アニメなど新たな産業創出への関心もみられた

【子育て・教育】
 > 無償化に関しては評価する意見がみられた
 > 子育て世代や女性で、冬場や雨天でも遊べる室内型のあそび場の整備を要望する声が多い

【文化・芸術・スポーツ】
 > 楽都として音楽の振興を望む声が多くみられた。スポーツの機会・場の充実や美術館や図書館の充実への要望もみられる

【安心・安全】
 > 災害に強いまちづくりへの意見がみられる。地域との連携、女性や弱者視点の支援、防災意識の向上などがあげられている
 > その他、夜間が暗いことを指摘する意見がみられた

【人権・ダイバーシティ】
 > 増えている外国人との共生に関する不満の声もみられた

【行財政】
 > 市庁舎の建て替えや移転に関して、跡地利用も含め、前向きな意見がみられた